（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月　18/27/30日(18:00～21:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		15			

前回の改善計画
・新規利用者の相談や、緊急でない限り、自宅訪問は職員も同行し、早い段階での本人、そしてご家族との関係を気付けるようにしていく。 ・担当職員に関わらず細かい情報が職員全員に周知できるよう、特養ユニットへの情報提供をミーティングや、ユニット会議にて引き続き行っていく。小規模多機能利用者の利用状況、ケアの内容、本人、家族のニーズ等の情報を大曲レインボーハイツ全職員で共有することで小規模多機能全体のケアの充実を図る
前回の改善計画に対する取組み結果
・職員の利用者自宅訪問は前年度より、同行することが出来るようになり、早い段階での利用者とご家族の関係、顔見知りの関係が気付けるようになってきている。・小規模担当職員や、専属職員を増やすことが出来ず、ケアの充実を図ることがなかなか出来ていないが、ミーティングやユニット会議にて、他ユニットに情報提供し、共有し、見守りや、送迎等、他ユニットとの協力を行っている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	13			15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	14			15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	13			15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		15			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・前年度に比べ、ケアマネ・管理者・リーダーだけではなく、小規模スタッフも一緒に自宅訪問へいくことが増えた事により、初回利用までに、他スタッフへの情報共有のスピードが上がったと思われる。・ミーティングやユニット会議にて、より良い支援が出来るよう、利用者側、介護者側の不安材料を話し合うことが出来ている。	

f

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・記録や・日誌の記載漏れや、職員同士の口頭での引き継ぎなどが度々見られ、間違った情報が拡散してしまうことがたびたび見られた。 ・ご家族と職員との関わり合いが送迎時以外にほとんどない為、ご家族の気持ちや思いをなかなか直接感じることが出来ていない。・ユニット会議や、ミーティングにて情報の共有、情報交換をしているが、小規模担当職員と、担当ではない職員とでは、細かい共有には差があり、関心にも差が出ている。・送迎時や、訪問介護へ職員が外へ出ることによって、フロアの見守りが不十分になり、雑務や他業務をしながらでは細かい気遣いや、配慮ができないことが増えている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・小規模担当職員や、専属職員を増やすことが出来ず、ケアの充実を図ることがなかなか出来ていないが、ミーティングやユニット会議にて、他ユニットに情報提供し、共有し、見守りや、送迎等、他ユニットとの協力を引き続き行っていく。・記録物の記載漏れや口頭での引き継ぎをなくし、情報に洩れ、誤りがいないよう引き継ぎを行っていく。	

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年　12月　18/27/30日(18:00～21:00)
2.「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 （総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1	10	4		15

前回の改善計画
・小規模多機能の特徴や、大曲レインボーハイツの小規模多機能のあり方を職員全体に理解してもらうため、職員全体での意識統一が行えるよう、内部研修等を行えるよう計画する。 ・家族や本人からの、ニーズや生活状態を聞き出し、利用者さんの日々の状況把握や、ケアの改善点を担当者会議や、ユニット会議で話し合う。介護支援専門員へ日々の情報提供、ケアプランへ繋げていく。 ・充実したサービス提供のためにも、職員確保が必要

前回の改善計画に対する取組み結果
・施設全体での職員の募集は行っているが増員確保が出来ていない。職員の疲弊が見られている　・ 日々の業務に追われ、職員全体での意識統一や小規模多機能の特徴など、話し合う機会を設けることが出来なかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 （総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		7	8		15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		10	5		15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		7	8		15
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	2	11	2		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・小規模での年間行事を立て、毎月行事を行ったり、送迎や食事・入浴等、本人の体調の変化をみながら日々の生活を支えることが出来ている。　・ユニット会議、毎日のミーティングによって、情報の交換や、意見交換を行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者さん本人の目標と家族の目標にズレが見られ、 どのようにしたら両方の目標のゴールに向かうことが出来るかが見えていない。 ・日々の業務に追われ、本人の○○したいの実現が出来ていないことが増えた。　・外食・外出等、レクリエーションを企画し、実行しているが、職員の都合上、全員参加や特養入居者参加も多く、個別対応が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・職員の増員、募集。　・職員の気持ちや考えを押しつけるのではなく、利用者さん、ご家族の目標を受け入れ、理解し、柔軟に支援が出来るよう、引き続きミーティングやユニット会議等で話しあう	

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月　18/27/30日(18:00～21:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		12	3		15

前回の改善計画
・記録物の記入漏れ改善。 ・全職員の記録物確認の周知の徹底。 利用者さんや、家族との信頼関係を築けるよう、ケアマネ、管理者だけではなく、スタッフ全員が利用者さん、ご家族に顔と名前を覚えてもらえるような工夫を検討し実施できるよう計画する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・小規模と、特養掛け持ち勤務の職員と、特養専属のみの職員では、宿泊者の対応はしているが、日中や記録物を通しての細かい情報の収集が出来ていない職員もいる。 ・ご家族や、地域住民に、職員全員の顔と名前の周知が出来ていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10 個以上把握できていますか？		3	12		15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	11			15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	13	1		15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	10	1		15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	11	1		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ミーティングや、ユニット会議での職員同士での意見交換・情報交換を行うことで情報の共有が出来ている。 ・機械浴導入により、個浴対応が難しくなってきていた方への入浴時の負担と、介助者の負担軽減が出来てきている。・日々の体調の変化や、精神面の変化に気付き、ケアの変更や、通い、訪問、泊まりと、臨機応変に対応することが出来てきている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員の顔と名前が、ご家族に浸透していない。 ・職員間での利用者情報はある程度共有出来ているが、利用者の以前の暮らしの情報は、薄く、把握できていない。 本人の体調や精神面での変化があった場合、それ以降の改善までの状態の記録が不十分なことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職員の顔と名前の一致のための工夫を検討し、実行していく。 利用者の体調者や精神面での変化があった場合、以前と現在と比べてどのように変化し、改善されたか、途切れ途切れのケアではなく、振り返りができるよう、些細なことでも細かく記録を記載する。	

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月18/27/30日（18:00～21:00）
4．地域での暮らしの支援	メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 （総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2	10	3		15

前回の改善計画
・本人に関する周辺の人間関係や生活スタイルを崩さず、支援していけるよう、家族や、地域との協力方法を検討する。 ・小規模多機能を利用することでの、新たな地域との繋がりや、地域住民との顔なじみの関係ができるような支援方法、行事等を検討し、計画、実行できるよう努める。 ・家族と、職員、地域住民との信頼関係が築けるよう、行事の計画、運営推進会議へ他職員の参加

前回の改善計画に対する取組み結果
・在宅生活がながく継続できるよう、地域とのかかわりや、家族の協力、LSAの方の協力を得て生活をされている方もいる。　・職員と、家族、本人の意見や希望がうまくかみ合わず、利用者本位のケアができていないことがあった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 （総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		13	2		15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		13	2		15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		8	7		15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	10	4		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者によって、地域とのつながりを持ったり、LSAの方との連携により、在宅生活を継続しているケースもある。　・長期の宿泊利用の方には、日用品など不足している物を購入していただけるよう、連絡し、定期的に施設に顔を出していただけるよう連絡を取り合っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・施設での過ごし方は把握できているが、職員と、ご家族との繋がりが少なく、在宅での暮らし方を聞いたり、家族からの相談や、職員と話し合う機会が少ない。送迎時も、ゆっくり話し合うことが少ない為、在宅と施設での過ごし方に差が出ていて、伴走型のケアができていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・引き続き、住み慣れた地域での暮らしが継続できるよう、自施設のみだけではなく、地域の方の協力や、LSAの方との協力を得ながら、利用者さん一人ひとり在宅生活を支えていく。　・職員と、家族とのつながりを増やせるよう、行事や会議だけではなく、気軽に話ができる場をも置けられるよう、企画、実施ができるようにする。	

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成30年　12月　18/27/30日（18:00～21:00）
5. 多機能性ある柔軟な支援		メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 （総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		10	5		15

前回の改善計画
・円滑に小規模多機能での年間行事や週間計画が実行されるよう、小規模多機能担当職員の確保と育成。 ・大曲レインボーハイツならではの、売り、自慢できることを考え、職員全体で共有、利用者へ、よりよいサービスを受けていただけるよう工夫する。 ・在宅生活支援のため、利用者一人一人の細かいニーズに答えられるよう、社会資源、地域の資源を活用していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・職員の慢性的欠員により、年間行事、週間計画が実施することが困難となってしまっている。日々の業務に追われ、大曲レインボーハイツだからこそ出来ること、売りになることなどが、明確にできず、職員の士気が下がってきている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 （総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		13	1	1	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	8	1		15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	12			15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	13	1		15

できている点
・家族の希望、本人の体調に合わせた、訪問、通い、宿泊の対応が出来ている。　・西コミセンの体育館を利用してのゲーム大会の開催。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・前回同様、大曲レインボーだからこそ、というものがなく、売りになること、自慢できることが欠けている。 職員の慢性的欠員により利用者、個々の希望に寄り添い、それぞれの過ごし方をすることが出来ていない。	・

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・前回同様、円滑に小規模多機能での年間行事や週間計画が実行されるよう、施設全体の職員の確保と育成。	

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月18/27/30日(18:00～21:00)
6. 連携・協働	メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1	10	4		

前回の改善計画
・運営推進会議に、管理者だけではなく、ほか職員も参加できるよう工夫する。・引き続き、家族や地域住民への会議参加が増えるよう工夫していく。 ・防災訓練、避難訓練実施の際は、家族や地域住民へ案内を出し、参加を呼びかけ、地域とお互い協力しあえる体制をつくり、防災マニュアルの作成と周知を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果
・運営推進会議等に、他職員が参加する機会が増えたが、家族や、現在出席していただいている地域住民の方以外の地域の方の参加が出来ていない。・防災訓練の際も、案内を出すことが出来ずにいる。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？		11	4		15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	11	3		15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	1	13	1		15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		4	11		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・訪問看護、福祉用具等の他事業所との連絡・相談、サービス担当者会議を行っている。・運営推進会議の職員の参加、コミセン祭りの手伝いや、利用者さんと見物等を行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・自治体や、地域の会議には一般職員の参加が出来ていない。・防災訓練等に地域住民の参加、家族の参加が出来ていない。・ご家族・ボランティアさん、運営推進会議参加者の地域の方以外の訪問者がほとんどない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職員の増員、募集を引き続き行っていく。・年2回、防災訓練の参加についての案内を出していく。	

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成30年　12月　18/27/30日(18:00～21:00)
7. 運営		メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		13	2		15

前回の改善計画
・運営推進会議や地域の会議等を利用して、家族や他地域の意見や苦情などを把握し運営に反映する。 ・運営推進会議の出席に関しては引き続き日程時間や場所の検討し、参加者を増やせる工夫をしていく。 ・行事の計画、実行にて、家族、地域住民との関わりを増やし、気軽に施設への要望や、意見が出していただける環境を整え、地域に根差した施設を目指す。　・職員の募集、確保が必要
前回の改善計画に対する取組み結果
・運営推進会議のご家族の出席率は年々、減少してきている。　・施設の行事ではご家族、地域の方の参加がみられている。　・職員の募集をしているが、不足状態が続いている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		10	5		15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		15			15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		15			15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		10	5		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご家族からの意見・要望があった場合は、管理者、ケアマネに報告、担当職員での話し合いを行い、対応を行っている。　・運営推進会議の定期的開催が出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域行事の参加を予定していても、職員の欠員等で、欠席をしてしまう事があった。　・定期的な運営推進会議を行うことは出来ているが、家族の参加が少なく、情報交換やコミュニケーションを図る機会が少ない。　・職員の募集をしているが、確保が困難な状況。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職員の増員をすることで、職員がゆとりを持った介護、地域との関わりが増やせるようにする。 ・ご家族とのコミュニケ―が図れるような行事を増やす。	

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成30年　12月　18/27/30日(18:00～21:00)
8. 質を向上するための取組み		メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		11	4		15

前回の改善計画
・大曲レインボーハイツとしてどのように貢献できるか検討し、地域に必要とされる拠点としての役割を確立する　・地域連絡会議や、運営推進会議など、地域、家族との繋がりのある会議等には、管理者だけではなく、リーダーや、他職員も参加し、地域の方や、家族の方との距離を縮め、大曲レインボーハイツを地域に必要とされる拠点としての意識づけを行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・地域連絡会議や、運営推進会議など、職員、地域と、家族との繋がりがほとんどなく、管理者・ケアマネ以外の職員の名前と顔が一致しないことが多く、職員不足により、職員も施設の外へ出る機会が減っている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	12			15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	12	2		15
③	地域連絡会に参加していますか		11	4		15
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	2	13			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・前回に比べて、運営推進会議等に、職員が参加することが出来るようになってきている。　・内部研修への参加、スキルアップのための施設内での勉強会開催も行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・慢性的な職員不足により、職員が、地域の会議等に出席することが出来ていないため、地域住民との繋がりが出来ていない。 ・運営推進会議や、施設行事に参加される地域の方や、ご家族の方が少ないため、コミュニケーションをとる機会がい少ない。　・職員の運営推進会議への参加は増えてきているが、内容が職員に浸透していない。　・大曲レインボーハイツとして、どのように地域に貢献できるか、必要とされる拠点としての意識づけ、地域の方々に知ってもらう話し合いがあまりない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・引き続き、職員の会議等の参加をふやし、地域との繋がりを増やしていく。　・職員の顔と名前が一致しないことが多く、施設全体でどんな職員が働いているかが見えないため、施設全体での取り組みで、目に見えて職員の顔と名前が一致できる工夫をしていく。	

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月18/27/30日（18:00～21:00）
9．人権・プライバシー	メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 （総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		13	1		

前回の改善計画
・拘束、虐待につながることの再確認、認知症の方との接し方や、認知症についての勉強会の開催。 ・プライバシーや、羞恥心等への配慮ができるよう、設備や、職員の対応等、環境を整えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・内部研修による身体拘束・虐待についての研修が行われ、どのようなことが身体拘束・虐待につながるか、大きく理解をする事は出来た。 ・認知症の方との接し方や、言葉使いでは、職員一人一人の理解や、考え方によって、対応に差が出ている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 （総人数）
①	身体拘束をしていない	6	9			15
②	虐待は行われていない	9	6			15
③	プライバシーが守られている	4	11			15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	8			15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	10			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々のミーティングや、ユニット会議にてﾋﾔﾘﾊｯﾄ、事故報告での事例を通して、今後どのように対応して良くことが良いか、身体拘束、虐待につながらない為に、どのように接していくかを検討している。・虐待・身体拘束についての内部研修が行われたことで、スタッフ一人ひとりのなかで知識や情報が増えた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・介護者側の利用者に対しての言葉使いや、話し方、対応が不適切だと感じる場面がある。 ・職員一人一人の考え方や理解に差があり、認知症高齢者に対してのコミュニケーションの取り方の知識不足が感じられる場面がある。 ・言葉による、行動の抑制がみられることがある。・男性職員が少なく、入浴や、排せつ介助時、同性介護をすることが困難となっている。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・引き続き日々のミーティングや、ユニット会議にてﾋﾔﾘﾊｯﾄ、事故報告での事例を通して、今後どのように対応して良くことが良いか、身体拘束、虐待につながらない為に、どのように接していくかを検討していく。・勉強会や、研修を通して普段行っているケアの中で、スタッフ個人個人で気付いたこと、不安に思う事や疑問に思うことについて話し合う機会を設ける。	